

令和5年4月

保護者 各位

令和4年度学校評価について

県立串木野特別支援学校長

仲春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度に実施しました学校評価につきまして、自己評価（職員）、保護者、児童生徒アンケートについての集計結果や、成果や課題をまとめましたのでお知らせします。

記

1 回収状況について

(1) 自己評価（校内の職員）

小，中，高，寄宿舎，事務職員を対象に行い，昨年度に続き，本年度も回収は100%でした。

(2) 保護者

昨年度，初めて校務支援システム「See-Smile」を使って実施し，今回も同様の方法で行いましたが，回収率は45.4%でした。昨年度（47.1%）をやや下回りました。途中で「安心・安全メール」で再度，回答の呼び掛けをしましたが効果は不十分でした。「See-Smile」をあまり活用する機会がない方も多いためを考慮し，丁寧に手順等を紙面で周知したり，回答用紙も配布してどちらでも回答できる形をとるなどの丁寧さが必要だったと反省します。

(3) 児童生徒

昨年度は全校で70人が回答しましたが，本年度は半数以上の120人/225人が回答しました。

職員が質問を読み上げて児童生徒が記入・選択したりする方法や，質問を理解しやすい項目のみの回答も可能にしたりしたことが理由と思われまます。

2 まとめ

◇評価基準	職員…4：十分達成	3：おおむね達成	2：やや不十分	1：不十分
	保護者…4：当てはまる	3：やや当てはまる	2：あまり当てはまらない	
		1：全く当てはまらない	0：分からない	
◇課題の基準	4と3を合わせた割合が80%に満たない項目を本校の課題ととらえる。			

(1) 全体として

職員による自己評価，保護者評価，児童生徒評価ともに 4・3の合計が80%に達しなかった項目は一つもありませんでした。これは本校の学校評価結果でここ数年で初めてです。

これまでの課題改善の取組が一定の効果を上げてきたと言えるかもしれませんが，コロナ禍の中で学校生活に関する情報が必ずしも十分でなく，またよりよい学校作りのためにはさらに高い達成度を目指すべきと考え，裏面のように成果や課題をまとめましたので御覧ください。

(2) 成果と課題

① 授業の充実，ICT機器の活用について

(関連するアンケートの項目 職員…3, 6 保護者…項目4 児童生徒…5)

職員の自己評価では、4点の評価がR3の25%からR4は40%に向上しました。ICT機器を活用した授業作りについては昨年度より重点的に研修を続けており、分かりやすい授業や魅力のある授業について実感を感じているようです。

一方、保護者評価では「分からない」と回答された方が全項目中で最も多く23%でした。

コロナ禍で授業参観の回数が少ないことが理由と思われる。次年度以降は、授業参観でICT機器を活用した授業を見ていただいたり、教育相談の中で子供さんの様子をお伝えしたりしていきます。

② 進路指導の充実及び情報提供について (職員…項目9 保護者…項目8)

保護者評価で2・1・0点の評価の合計が19%ありました。学部別に見ると小学部と中学部の保護者の方が多いでした。進路研修会について小学部では10月に実施しましたがコロナ禍で参加者が30人とやや少なく、中学部ではアンケート実施後の2月に実施したことも一因と思われます。研修会自体は小・中学部とも参加された方たちには好評をいただきました。

またPTAの施設等の研修視察も3年間実施できていませんので、次年度以降、感染防止に関する動向を注視しながら、進路に関する研修機会を設定・御案内していきます。

③ 食育及び児童生徒の健康管理について (職員…項目5,10,11 保護者…項目9,17)

関連する評価項目については全て高い評価でした。しかし、職員から児童生徒の肥満対策や栄養不足等について、専門家と連携しながら学校から基準や対策を家庭にお知らせすべきではという意見がいくつかありました。

本校の児童生徒は、様々な障害特性や運動をする際には周りの人の協力が必要です。卒業後も健康に過ごせるよう、在学時から食生活や運動の機会について、適切な習慣が身に付けられるように検討していきます。

④ コロナウィルス等の感染対策防止について (職員…項目13 保護者…項目11)

全国、県内の感染拡大の中で、本校関係者も感染するケースがありましたが、さいわい重症化する方はありませんでした。対策については保護者と職員ともに高い評価で家庭・学校がしっかり連携して取り組むことができたと思います。御家庭での検温、マスク着用、自宅療養・待機への御協力ありがとうございました。

⑤ 災害時の危機管理について (職員…項目12 保護者…項目10)

コロナ禍でなかなかできなかった原発事故を想定した対応訓練に令和4年度は初めて取り組みました。引き渡し場面だけの簡易な形で特に問題はありませんでした。連絡体制、保護者や避難車両の経路の確保などについては整理・周知していく必要があると考えます。

⑥ 人権への意識について (職員…項目4 保護者…項目5, 児童生徒…3, 4, 9, 11)

数値の評価では基準は達成してしまいますが、児童生徒に関わる上で全職員が常に厳守しなくてはならない事柄です。児童生徒全員が、明るい気持ちで学校生活を過ごすことができるよう全職員の人権意識を徹底していきます。